

One Year in Remembrance | KAORU UEDA'S SUPERREALISM - JAM, ICE-CREAM, RAW EGG

● 夏季展 II — 上田薫展 — 新館2階・地下1階

2026 8.28^{FRI} — 9.27^{SUN}

—— 追悼1年 ——

上田薫の スーパーリアリズム

—— ジャム、アイスクリーム、なま玉子 ——

2展を
同時開催



上田薫《なま玉子 F》1987年 個人蔵

■会場：荏原 畠山美術館 本館2階展示室、新館2階展示室、新館地下1階展示室
■休館日：月曜日、9月21日[月・祝]は開館、24日(木)は休館 ■開館時間：10時～17時(最終入館16時30分)
■入館料：一 般 1500円 / 高校生・大学生 1000円 / 中学生以下無料(但し保護者の同伴必要)
■主催：荏原 畠山美術館 ■協力：名古屋画廊
<https://www.hatakeyama-museum.org/> お問い合わせ：050-5541-8600[ハローダイヤル]

EBARA HATAKEYAMA
MUSEUM OF ART
荏原 畠山美術館



EBARA HATAKEYAMA
MUSEUM OF ART
荏原 畠山美術館



4



3



1

2展を
同時開催

2026

8.28^{FRI} — 9.27^{SUN}

■会場：荏原 畠山美術館 本館2階展示室、新館2階展示室、新館地下1階展示室
■休館日：月曜日、9月21日[月・祝]は開館、24日(木)は休館 ■開館時間：10時～17時(最終入館16時30分)
■入館料：一 般 1500円 / 高校生・大学生 1000円 / 中学生以下無料(但し保護者の同伴必要)
■主催：荏原 畠山美術館 ■協力：名古屋画廊
<https://www.hatakeyama-museum.org/> お問い合わせ：050-5541-8600[ハローダイヤル]

Stories
Behind
the Names
of
Tea
Utensils

めぐる物語
銘を

茶道具と

● 夏季展 II
畠山コレクション
本館2階



2

①《井戸茶碗 銘楽天》朝鮮時代
織田有楽斎書
②《月兔図》森徹山筆 江戸時代
③《色絵牡丹文四方皿》尾形乾山 江戸時代
④「特別展示」重要文化財《豊臣秀吉画像》
伝狩野山楽筆 近衛信尹筆 桃山時代
(部分)

—— 追悼1年 ——

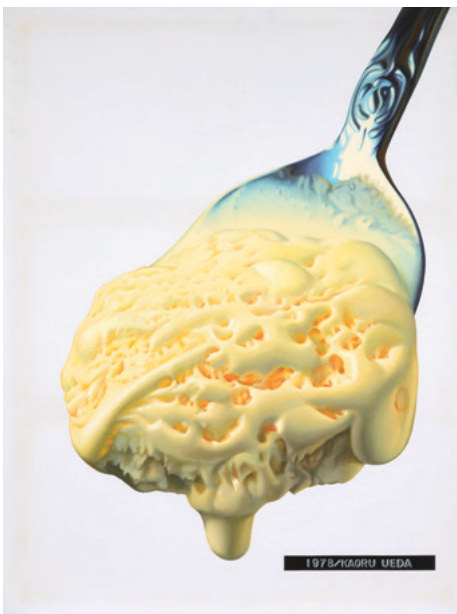
上田薫のスーパーリアリズム

ジャム、アイスクリーム、なま玉子

- ① 上田薫《Sky F》2001年、神奈川県立近代美術館
- ② 上田葉子《Sky Taos》2003年、個人蔵
- ③ 上田薫《あわD》1979年、個人蔵
- ④ 上田薫《ハンバーガー A》1974年、個人蔵
- ⑤ 上田薫《サラダ E》2014年、個人蔵
- ⑥ 上田薫《ジェリーにスプーン D》1990年、個人蔵
- ⑦ 上田薫《アイスクリーム B》1978年、個人蔵
- ⑧ 上田薫《コップの水 H》1985年、相模原市



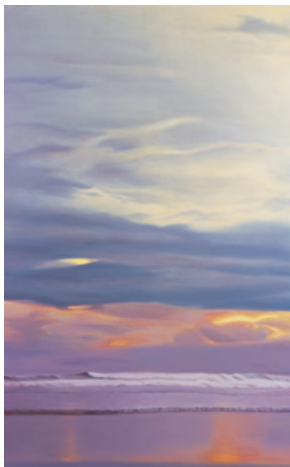
⑧



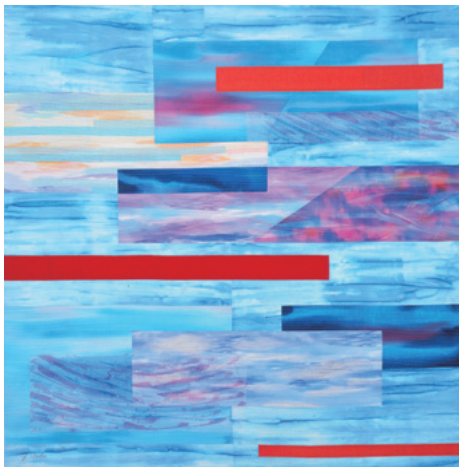
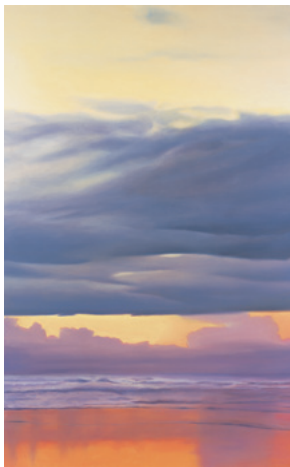
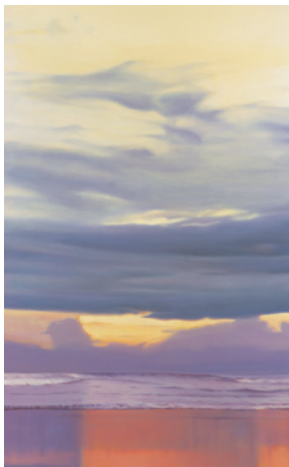
⑦



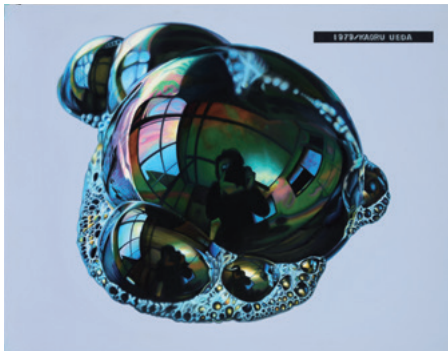
⑥



①



②



⑤



④



⑦

Ⅱ期では、現代日本を代表する洋画家・上田薫の没後1年を追悼した展覧会を開催します。上田が追及した「スーパーリアリズム」は、写真をキャンバスに投影し、なま玉子が落下する瞬間やスプーンですくったアイスクリームなど、肉眼では捉えきれない刹那を克明に描き出す超写実表現です。画面から溢れ出るみずみずしい色彩は、見る者に「本物より美しい」と感じさせる驚きと高揚感をもたらします。

本展では、初期の作品から代表作に加え、写実から離れ新境地を拓いた晩年まで60点超の作品を展示いたします。また彼を支え続けた葉子夫人の温かなキルト作品も特別公開いたします。

杉本博司氏が基本設計を手掛けた新館にて、極限の技と人生の軌跡が響き合う空間をご堪能いただけますと幸いです。本館の茶の湯の精神に通じる「一期一会の時間」を過ごしに、ぜひ白金台の静謐な森へお越しください。

上田薫略歴 | 1928(昭和3)年、東京府代々木に生まれる。美術史家・富永惣一との出会いを契機に画家を志し、東京藝術大学絵画科油画専攻に進学。1954(昭和29)年、同大学を卒業。1958(昭和33)年、南画廊において初個展を開催。一方で、1956(昭和31)年にはMGM社ボスター国際コンクールで国際大賞を受賞し、グラフィックデザイナーとしても活躍。その後、約10年間デザイン分野の仕事に専念した。1968年頃より絵画制作を再開。写真をキャンバスに投影して描く手法によって、代表作《なま玉子》等を制作し注目を集めた。その新たな写実表現は、同時期のスーパーリアリズムとも呼応するものとして高く評価された。茨城大学、山野美容芸術短期大学教授を歴任。2025(令和7)年9月26日逝去。享年96。



《備前茶入 銘 関寺》桃山～江戸時代 仕覆 梅鉢宝尽文緞子 挽家 朱漆組物

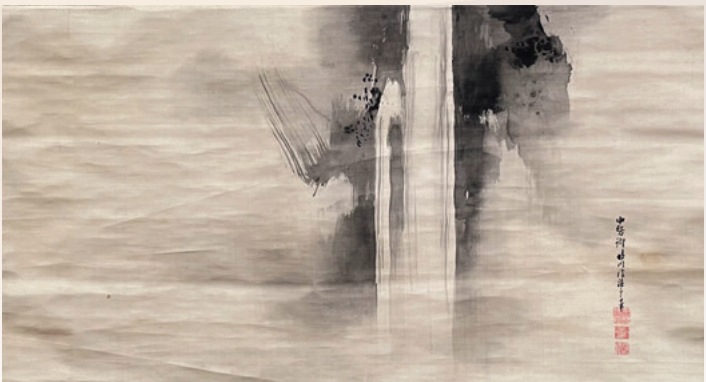


《祥瑞砂金袋水指》中国 景德鎮 明時代

長い年月を経て大切に守り伝えられてきた茶道具の逸品たち。茶人は、世界に一つしかない道具への尊敬と親愛の情を込めて、これらに「銘」を授けました。「銘」とは、優れた茶道具に付けられた別名のことです。道具本体や保管用の箱に記されたその名は、茶道具を愛した人々の想いや美意識を現代へと伝える懸け橋となっています。本展では、「なぜ、この銘が付いたのか」というテーマに焦点を当て、茶道具に秘められた物語を紐解きます。涼を感じる作品や秋を先取りする作品とあわせて、ぜひお楽しみください。本展が、茶道具を観て楽しむきっかけになれば幸いです。



《砂張盆》明時代



《瀑布図》狩野養信筆 江戸時代

茶道具と銘をめぐる物語

Stories Behind the Names of Tea Utensils



【特別展示】重要文化財《豊臣秀吉画像》伝 狩野山楽筆 近衛信尹筆 桃山時代

■ 関連イベント [事前申込制]

■ 講演会

日時：9月6日(日) 講演会「《なま玉子》のその先へー上田薫が本当に描きたかったもの」
9月12日(土) レクチャー&ギャラリートーク
講師：上田葉子氏(上田薫夫人、キルト作家) ※詳細、申込方法は別途当館ウェブサイトをご確認ください。

■ 鑑賞会(本展のみどころを紹介いたします)

第1回目：8月28日[金] 講師：岡部昌幸(当館館長)
第2回目：9月19日[土] 講師：水田至摩子(当館学芸部長)
各回とも10:30～11:15 | 会場：荏原 畠山美術館 新館1階多目的室 | 定員：各回70名

※関連イベントは全て事前申込制。詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。
その他のイベントを開催する場合もウェブサイトでご案内します。
※事前申込不要の学芸員によるミニトークを開催いたします。詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。
【お知らせ】当日券の購入およびショップ・カフェでのお支払いは「キャッシュレス決済のみ」となります。
ご利用可能な決済方法は、クレジット・交通系ICカード・電子マネー・QRコードとなります。

■ 次回の展覧会	秋季展 10月17日[土]～12月13日[日] 本館：畠山コレクション：異国へのあこがれ—唐物、島物、古渡り 新館：スタンランと猫のジャポニスム
----------	--



公益財団法人 荏原 畠山記念文化財団
〒108-0071 東京都港区白金台2-20-12

お問 合 せ：050-5541-8600 [ハローダイヤル]
<https://www.hatakeyama-museum.org/>



【アクセス】
■ 都営浅草線「高輪台」駅下車A2出口左手交番を左折徒歩5分
■ 東京メトロ南北線・都営三田線「白金台」駅下車
1番出口右手コンビニを右折徒歩10分
※一般来館者専用の駐車(輪)場はございません。公共交通機関をご利用ください。なお車いす用駐車場(1台)は、事前に予約された方の専用駐車場です。予約方法は当館のウェブサイトでご確認ください。